

No.	110-080	事務事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	市民運動推進室
	基本事業名	01	伝統文化を学ぶ環境づくり				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	01	10010	市民運動推進経費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

宝暦4年(1754年)の木曾川治水工事(宝暦治水)における薩摩義士の尊い偉業と、その崇高な精神を後世に永く伝えるため、薩摩義士顕彰会を組織し、薩摩義士が残した業績と精神を顕彰するとともに、さらに詳しい調査研究を進める。また、姉妹都市である岐阜県海津市の「報恩感謝」の気風を学ぶとともに、鹿児島県や岐阜県にある薩摩義士顕彰団体との連携を深める。

主な活動としては、薩摩義士顕彰会設立総会、薩摩義士慰霊祭へ参加し報恩感謝の気風を学ぶ、隼人地区に墓のある薩摩義士「山元八兵衛」の研究及び慰霊墓参、薩摩義士研修会の開催、広報誌の発行、が挙げられる。なお、事務局は市民運動推進室が担っている。

事業期間

単年度のみ

単年度繰返 ↳ (H 19 年度 ~)

期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 総会の開催	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ 薩摩義士慰霊祭参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民、薩摩義士顕彰会会員	ウ 「山元八兵衛」慰霊墓参参加者数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	薩摩義士の顕彰活動をとおり薩摩義士の崇高な精神を学ぶとともにその精神を後世に永く伝える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 薩摩義士顕彰会会員	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 薩摩義士顕彰会の事業参加者数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 伝統文化を知っている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		70	266	270	
		事業費計(A)	千円	0	70	266	270	
活動指標	ア	回		1	1	1		
	イ	人		17	10	15		
	ウ	人		28	23	25		
対象指標	ア	人		127,773	128,128	128,383		
	イ	人		91	124	150		
	ウ							
成果指標	ア	人		91	124	140		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%		71.5	79.7	72.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市町合併により霧島市となったことを機に、これまで各市町で個別に活動していた薩摩義士に関する団体や個人を集約し、市として一体性のある取り組みを行うため、平成19年度に薩摩義士顕彰会を組織した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

薩摩義士顕彰会設立時(H19年4月)の会員は45名だったが、順調に増えてきている。今後も、研修会の開催や広報誌の発行等により、さらなる会員の増加が期待される。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

薩摩義士に関する調査・研究を充実するため、霧島市内にある薩摩義士の関係団体の一本化を図る必要があるとの意見があった。また、市議会議員からは薩摩義士の語り部を育成する必要があるのではないかと意見があった。

事務事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 木曾三川の治水工事を行った薩摩義士の偉業を顕彰することは、現在も続く岐阜県民の薩摩義士に対する報恩感謝の気運を市民に広く学んでもらうとともに伝統文化を大切に思う心を育て、地域の伝統文化を知ることにつながる。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 宝暦治水工事を行った薩摩の先人、薩摩義士について顕彰を行うことは、地域の伝統文化を学び郷土を知る上で非常に有効であるので、妥当。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 薩摩義士の顕彰活動をおとして薩摩義士の偉業を広く市民に知ってもらうため、対象を市民・顕彰会会員とした。また、薩摩義士の崇高な精神を広く市民に学んでもらうことにより、伝統文化を大切に思う心が育まれるため、意図としても妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 薩摩義士顕彰会の設立や入会について市民からの問い合わせが多く関心が高い。今後も会員を増やしていくことで、成果の向上が期待できる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 宝暦治水を行った薩摩義士の偉業を後世に伝える機会・手段が減少する。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 薩摩義士に関心がある県民を募集して組織している「県薩摩義士顕彰会」と「美濃の会」 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市として、薩摩義士に関心がある団体や個人をひとつにまとめ、地域に密着した顕彰活動を行う必要があり、薩摩義士顕彰会を市単独で設立した経緯があるが、調査研究については、先進団体である「美濃の会」や岐阜県の薩摩義士顕彰会などとも連携を図っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費については、研修会の経費、調査広報誌の経費が主であり、会の運営上必要不可欠な費用であるため、削減の余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 薩摩義士顕彰会の事務局としての業務を行っている。平成19年度に発足した組織であり、現状で事務局機能を外部に移すことは難しい。当面は市が事務局を担い、時期をみて事務局を移していく。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 会員は広く市民から募集しており、研修会への参加についても会員・非会員の制限を設けていない。調査研究の発表も広く市民に向けて行っているため、受益機会は公平。また、費用負担についても、会員から会費等を徴収し、会の運営に充てているので、公平・公正。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後も会員を増やしていくことで、顕彰会の活動を今まで以上に充実したものとすることが必要がある。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		< 改革改善案 > 様々な機会をおとして顕彰会の活動などを広報する。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	630-530	事務事業名	かごつま弁論大会実施事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所属課	観光課
	施策名	0 4	伝統文化の保存・継承	課長名	横手航太郎
	基本事業名	0 1	伝統文化を学ぶ環境づくり	所属G(係)	特産品G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成19年より郷土の言語である鹿児島弁に親しみ、郷土を知ることによって、市民の伝統文化に対する理解を深めることを目的にかごつま弁論大会を開催している。 開催時期:6月中旬 内容: 第1部 かごつま弁論大会 鹿児島弁を使った弁論大会で、テーマは自由 弁論者10名 持ち時間5分 第2部 笑いの講演会	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 19年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)	名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	ア 弁論者の申込み人数	人
事務事業の概要と同様	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	ウ	
前年度と同様	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	名称	単位
市民	ア 人口	人
	イ	
	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
かごつま弁を知ることができる。	名称	単位
	ア 来場者数	人
	イ	
	ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	名称	単位
	ア 伝統文化を知っている人の割合	%
	イ	
	ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	394	469	444	
	事業費計(A)	千円	0	394	469	444		
活動指標	ア 人	-	15	9	15			
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人	-	1,000	600	800			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %	37.0	37.0	38.0	39.0			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? かごしま弁は後世に残すべき鹿児島島の伝統文化であるという認識のもと、平成19年より開催した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

事務事業名	かごつま弁論大会実施事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 霧島市民が「かごつま弁」の良さを再認識し、地域の伝統文化を学び郷土を知ることができるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 地域の伝統・歴史を市民が知る機会を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めるために「かごつま弁論大会」を開催しているので妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 事業の対象は霧島市民であるので妥当である。意図についても弁論大会に来場してもらうことにより、かごつま弁を知ることができ、地域の伝統文化を学び郷土を知ることにつながり妥当である。																													
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 現在のようなスタイルではなく、学校の授業や、生涯学習講座において地域の伝統芸能を学ぶための授業や講座を拡充してもらう方が成果の向上余地があると思われる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? かごつま弁論大会でなくても、学校での授業や生涯学習講座で地域の伝統や文化を学べるので影響はないと思われる。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 生涯学習講座開催事業、小中学校での授業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、成果の向上余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																													
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、かごつま弁論大会を開催するための事業費は削減できる。																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、かごつま弁論大会を開催するための人件費は削減できる。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 来場者より入場料を徴収する事業がではないので地域の伝統文化を学ぶためのイベントであり誰でも入場でき公平・公正である。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		学校での授業や生涯学習講座で地域の伝統や文化を学べるので影響はないと思われる。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 教育委員会と所管の調整																															

No.	1250-200	事務 事業名	文化財保護啓発事業				所 属 部	教育部
							所 属 課	文化振興課
政策 体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課 長 名	川原 和 昭
	施策名	0 4	伝統文化の保存・継承				所 属 G (係)	文化財 G
	基本事業名	0 1	伝統文化を学ぶ環境づくり				電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	1 0	0 6	0 7	158090	文化財保護費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 文化財に関するパンフレットの作成 市報に「郷土史への扉」を掲載 文化財保護強調週間の周知 「文化財防火デー」に合わせて、神社による防火訓練の実施 出前講座による歴史講座の実施 など							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称		
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単 位		
広報。文化財防火デー。 鳥津義久関係パンフレット作成。 広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 出前講座による歴史講座の実施。 文化財保護強調週間の周知化。 加盟協議会等への参加。		ア	広報活動・情報発信の数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	文化財防火訓練の実施	回
広報。文化財防火デー。「ぐるり霧島 歴史探索の道」パンフの増刷。 広報誌に「郷土史への扉」を掲載。 文化財保護強調週間の周知化。		ウ	パンフレット・文化財調査物の刊行部数	冊
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)		
地域住民(市民)		名称		
市内の文化財		単 位		
		ア	地域(市民)の人口	人
		イ	文化財の数	件
		ウ		
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		
地域の伝統文化(史跡・文化財等)を学び地域を知ってもらう。		名称		
文化財に関心を持ち、大切にすることを。		単 位		
		ア	文化財に関心を持ち、イベントの参加した人数	人
		イ		
		ウ		
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		
地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。		名称		
		単 位		
		ア	伝統文化を知っている市民の割合	%
		イ		
		ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入 量	事業 費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,894	3,907	1,745	1,789	
事業費計 (A)		千円	2,894	3,907	1,745	1,789		
活動指標		ア 件	10	10	10	12		
		イ 回	3	3	3	3		
		ウ 冊	7,000	7,000	2,500	2,000		
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ 件	664	665	667	890		
		ウ						
成果指標		ア 人	未把握	14,497	15,507	16,000		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	67.0	71.5	80	72		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にまず知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にすることを目的として文化財啓発事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまでそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。	

事務事業名	文化財保護啓発事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がける。結果として、政策体系の「育み磨きあまちづくり」、施策の「伝統文化の保存・継承」に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが重要である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	霧島市は古くは旧石器時代から始まり、クマノ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。このように新市霧島には多くの文化財が点在しているため、市民に紹介したい文化財が多い。よって、本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考える。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 夏祭りや福祉大会などに市内の文化財を紹介するコーナーを設置したりして連携を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	文化財の広報活動については、市報やHPなどを駆使することにより、より効果をあげることができる。地域やNPOなどが主催する史跡めぐりなどの事業を奨励することで、効果をあげることができ、さらには人件費の削減にも繋がる。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	史跡めぐりコースパンフレットの作成については、印刷前にできるだけデーター化することにより、印刷製本費を削減することができる。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。また、ガイドブックについても有償としたので、本事業は公平が保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	他の事業と連携を持ちながら事業を進めることにより、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むことができるよう事業を展開していきたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
<改革改善案> 市民が霧島市の文化財を学びやすい環境をつくり、郷土の歴史・文化を正しく理解してもらう。 夏祭りや福祉大会などに市内の文化財を紹介するコーナーを設置。 地域やNPOなどが主催する史跡めぐりなどの事業を奨励する。																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 市民の歴史・文化を学ぶ意思を高めるには、歴史・文化に関する情報を提供する。
 市役所の他の部局との連携を密にし、各主催事業の中に市内の文化財を紹介するコーナーを設置できるよう工夫していく。
 地域やNPO団体等が文化財の大切さを認識していただき、史跡めぐりなどの事業を展開してもらう。

No.	630-540	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	所 属 部	商工観光部
				所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 4	伝統文化の保存・継承	所 属 G (係)	観光グループ
	基本事業名	0 2	保存団体への支援	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切った筏に乗りエッナと呼ばれるボウの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としての伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 15 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 仮設トイレ数	基
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 給水車数	台
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 小村新田魚捕り組合組合員	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ハンギリだしを円滑に行える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	伝統文化を継承し、広めてもらう。	名称	単位
		ア 市の人口(4/1付け)	人
		イ 組合員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア エッナ(魚)をとった人の数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 郷土芸能に関わる人数	人
		イ 発表を行っている団体数	件
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	38	39	38	39	
	事業費計(A)	千円	38	39	38	39		
活動指標	ア	基	1	1	1	1		
	イ	台	1	1	1	1		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,259	127,941	127,736	127,811		
	イ	人	10	10	10	10		
	ウ							
成果指標	ア	人	6	5	7	7		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	人	2,450	2,450	4,163	4,163		
	イ	件	44	44	44	44		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
仮設トイレの設置をしたため、大分利便性が図られた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
住民及び議会から水道や近隣に公園の設置の要望がある。	

事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 伝統行事を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに関わり結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 年中行事の伝承活動への支援であり妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は市民及び小村新田魚釣り組合組合員であり妥当である。意図はハンギリだしを円滑に行えるので妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 伝統文化を保存・継承するために行っている事業であり、観光課で実施するのではなく、教育委員会で事業を実施した方が成果の向上余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事業を廃止した場合、衛生面に支障が出るなど伝統行事の継続が困難となる。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 天孫降臨霧島祭 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 天孫降臨霧島祭とは趣旨が異なり、「ハンギリだし」は地域の年中行事であり、他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 伝統行事の開始合図の花火代や当日のトイレレンタル料など最小限の事業費であり、削減の余地はない。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 仮設トイレの手配、給水車手配などや使用料の支出等の事務のみであり削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 魚釣り組合が行っている伝統行事であり、受益負担はなじまない。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地元の魚釣り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 教育委員会との協議																														

No.	630-550	事務事業名	ほげ祭開催支援事業					所属部	商工観光部	
								所属課	観光課	
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうちづくり					課長名	横手 航太郎
	施策名	0	4	伝統文化の保存・継承					所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	0	2	保存団体への支援					電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし		
	一般	0	7	0	1	0	5	103090	観光費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

ほげ祭り実行委員会に補助金を交付し、ほげ祭り実行委員会が行うほげ祭りを支援している。
 (市の活動)ほげ祭り実行委員会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。
 (ほげ祭り実行委員会の活動) 11月23日に霧島神宮で五穀豊穡祈願と豊年を祝い奉納を行う行事として「ほげ祭り」を行う。【ほげ祭りの概要】豊年を祝い、神様への感謝のため奉納行事が行われます。地元スポーツ少年団による「子供みこし」を皮切りに、女性団体の踊り連、霧島中学校吹奏楽部の演奏、狭名田、杵田地区による棒踊り、霧島新八ノ節、俵踊り、ひよっとこ踊りが奉納される。

単年度のみ
 単年度繰返
 ↳ (H 17 年度 ~)
 期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																																	
<p>手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 但し、雨天のため子供みこし、女性連踊り、霧島中吹奏楽は中止。</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民 <補助金交付先>ほげ祭り実行委員会 <補助金対象活動>ほげ祭り実行委員会の活動に要する経費</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域芸能に触れることができる。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統芸能を継承し、広めてもらう。</p>	<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ほげ祭延べ参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 参加団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 郷土芸能に関わる人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 発表を行っている団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア ほげ祭延べ参加者数	人	イ		ウ		名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ		名称	単位	ア 参加団体数	団体	イ		ウ		名称	単位	ア 郷土芸能に関わる人数	人	イ 発表を行っている団体数	団体	ウ	
名称	単位																																
ア ほげ祭延べ参加者数	人																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 人口	人																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 参加団体数	団体																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 郷土芸能に関わる人数	人																																
イ 発表を行っている団体数	団体																																
ウ																																	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	421	800	684	615		
	事業費計 (A)	千円	421	800	684	615			
活動指標	ア 人		4,800	4,500	2,800	4,800			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア 人		127,615	127,280	127,811	127,856			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 団体		21	21	21	21			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア 人		180	170	168	170			
	イ 団体		7	7	7	7			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 霧島神宮があることより、五穀豊穡のお祭りを昔より実施している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 特に変化なし。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし。

事務事業名	ほげ祭開催支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																										
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	ほげ祭は、霧島神宮で五穀豊穡祈願と豊年を祝い奉納を行う伝統行事であり、伝統芸能を継承し、広めてもらうことに繋がりが結びついている。																										
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象はほげ祭を通じて伝統芸能を知ることができる市民あり妥当である。意図はほげ祭を開催することにより、市民が伝統芸能に触れる機会ができるので妥当である。																										
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																										
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																										
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 地域の中行事であり、他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																										
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																										
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																										
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																										
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		霧島神宮に伝わる伝統行事であり、保存・継承のため支援が必要。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																											
< 改革改善案 >			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

政策体系	No.	630-560	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	観光課	
	施策名	0 4	伝統文化の保存継承	課 長 名	横手 航太郎	
	基本事業名	0 2	保存団体への支援	所 属 G (係)	観光グループ	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
天孫降臨霧島祭実行委員会に補助金を交付し、天孫降臨霧島祭を実施している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (実行委員会の活動)天孫降臨霧島祭の開催 霧島祭は、市内の会場で霧島九面太鼓の太鼓演奏、霧島神楽振興会の霧島神楽、地域の郷土芸能などを披露し、地域の伝統芸能活性化を図ると共に、市外から誘客し市全体の観光活性化を図る。祭りは4日間行われる。 同実行委員会は、祭を円滑に運営するために関係する団体の職員、市職員等で構成された組織である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 単位 ア 祭りを見に来た人の数 人 イ 祭りツアー参加者 人 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 市の人口(4/1付け) 人 イ PRした旅行代理店数 社数 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、ツアー参加者、旅行代理店 <補助金交付先>天孫降臨霧島祭実行委員会 <補助対象活動>天孫降臨霧島祭活動に要する経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 祭りに参加した芸能団体の数(延べ) 団体 イ ツアー企画に興味を持った旅行代理店 社数 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域伝統芸能の活性化を図れる。 地域伝統芸能に触れる機会を得られる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 郷土芸能に関わる人数(団体登録者) 人 イ 発表を行っている団体数 件 ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	9,364	8,863	8,006		
		事業費計(A)	千円	0	9,364	8,863	8,006		
活動指標		ア 人	20,000	10,000	4,000	4,500			
		イ 人	0	0	0	50			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,259	127,941	127,736	127,811			
		イ 社数	0	0	0	4			
		ウ							
成果指標		ア 団体	60	35	35	35			
		イ 社数	0	0	0	4			
		ウ							
上位成果指標		ア 人	2,450	2,432	4,163	2,450			
		イ 件	44	43	44	44			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成18年より、本市の地域の伝統芸能の啓蒙を図ることを目的に開催された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																				
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市内の3会場で祭を開催し、伝統行事を披露する事は伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市の役割であるので妥当である。																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、祭を見に来る市民及びツアー参加者で妥当である。意図は、祭を開催することにより地域伝統芸能の活性化を図ることに結びついているので妥当である。																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 祭の開催場所を増やしたり、参加団体を増やすことにより、市民が伝統芸能に触れる機会が増えるので、向上の余地がある。																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事業を廃止すれば、伝統芸能を披露する機会が損なわれるので影響がある。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 文化祭 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 天孫降臨霧島祭は、多くの方に見てもらうために、市内の駅や人の集る場所で開催するので統廃合できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 入場料を徴収し祭りの運営に充てているが、補助金の予算額も年々削減されている状態であるので削減の余地がない。																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金の交付事務については最低限の事務であるので削減の余地はないが、祭の運営等に関しては開催場所の地域住民やボランティア等を活用することにより削減の余地がある。																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 補助金は年々削減されているが、入場料収入は実行委員会の収入となっており、公平・公正であると思われる。																							
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		伝統芸能を披露する祭は少なく貴重な事業となっている。開催会場を増やしたり、参加団体の数を増やしていれば成果の向上が見込まれる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>↘</td> <td>↘</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			↗	低下		↘	↘
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			↗																					
	低下		↘	↘																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催会場を増やすために、参加団体との日程の調整と、地域住民との協議が必要。 参加団体を増やすために、祭りの啓蒙普及が必要。 ツアー参加者を増やすため、宿泊者限定の利点等を観光施設、宿泊、特産品等一体となって生み出していくことが必要。																									

No.	630-570	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	所 属 部	商工観光部
		政策名	0 4 育み磨きあうまちづくり	所 属 課	観光課
		施策名	0 4 伝統文化の保存・継承	課 長 名	横手 航太郎
政策体系	基本事業名	0 2 保存団体への支援		所 属 G (係)	観光グループ
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。 (隼人町民芸保存会の活動) 鈴掛馬踊り、田の神舞等14の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 39 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 単位 ア 補助した団体数 団体 イ ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 団体数 団体 イ 会員数 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 隼人町民芸保存会会員 <補助金交付先>隼人町民芸保存会 <補助金対象活動>地区民俗芸能伝承団体の運営に要する経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 自主財源率 % イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図る。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 郷土芸能に関わる人数(団体登録者) 人 イ 発表を行っている団体数 団体 ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,900	4,410	4,190	3,770		
	事業費計(A)	千円	4,900	4,410	4,190	3,770			
活動指標	ア	団体	1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	団体	13	13	13	13			
	イ	人	13	13	13	13			
	ウ								
成果指標	ア	%	4.7	4.7	5.2	2.2			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	2,450	2,450	2,450	2,450			
	イ	団体	44	44	44	44			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和39年に隼人町固有の伝統的な郷土民芸、郷土玩具等を文化財あるいは観光資源として、未永く保存して伝えていくために、隼人町民芸保存会が発足している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
後継者不足により伝統が断たれるケースがでている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 隼人町民芸保存会への支援であり、伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 郷土芸能や年中行事の伝承活動への支援であり、妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は伝統文化を継承し、広めてもらう団体であり妥当である。意図は隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図ることにより伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がるので妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 隼人町民芸保存会に対する運営補助であり、向上の余地はない。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消滅する恐れがある。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地区民俗芸能伝承団体運営支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業も各地区の民俗芸能伝承団体に対する運営補助であり、窓口を統合することにより伝承活動への支援が容易になる。																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金交付事務のみであり、削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 伝統文化を継承し、広めてもらうことにより、市民が伝統文化に触れる機会を持って、より郷土の歴史を知り、伝統文化を大切にすることを繋がるので、公平・公正である。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		他の類似事業と窓口を一本化することにより、より伝承活動への支援が容易になる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整する必要がある。																														

No.	1250-210	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業				所属部	教育部
						所属課	文化振興課	
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	02	保存団体への支援				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令根拠	霧島市補助金等理念条例 霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	一般	10	06	07	158090			事業名

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会を提供を行う。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	
主な業務の内容 民俗芸能保存活動事業費補助金(運営補助) イベント等への出演依頼								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に従い、それぞれの団体に運営補助を行った。 各種イベント等へ出演の機会を提供を行った。 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に従い、それぞれの団体に運営補助を行う。出演の機会を提供を行う。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 保存団体の構成員 <補助金交付先:郷土芸能保存会> <補助対象活動:郷土芸能を継承するための運営補助> 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土芸能が保存・継承される。 伝統文化にふれる機会を持つ。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。		名称 単位 ア 運営補助している郷土芸能保存会の数 団体 イ ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 人口 人 イ 運営補助している保存会会員の数 人 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 発表の機会 回 イ ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 郷土芸能に関わる人数(団体登録者) 人 イ 発表を行っている団体数 団体 ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)					
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	815	496	510	618			
事業費計(A)			千円	815	496	510	618				
活動指標		ア 団体	23	14	16	16					
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383					
		イ 人	508	396	341	400					
成果指標		ア 回	22	32	36	36					
上位成果指標		ア 人	2,450	2,432	2,450	2,450					
		イ 団体	44	43	44	44					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため、また、後継者を育成するために始められた。 運営補助としては、昭和50年代から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。 保存会会員の高齢化が進むことで、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。(平成18年度:34団体中2団体が活動休止)	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。 市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	

事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 文化財の保護と活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、市民への披露などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってきたい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このことから、本事業を継続する必要がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 夏祭りなどの各種イベントに郷土芸能を披露する機会を設ける。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 郷土芸能等を後世に残していくには、本事務事業を継続していくとともに、他の事業(郷土芸能を披露できる事業)と連携していくことも必要である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本来郷土芸能は、それぞれの地域に根付いたものであり、保存会だけの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。そのため、保存会への運営補助を削減することは厳しい状況である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上に出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらの方を考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本来、郷土芸能はそれぞれの地域に根付いたものであり、保存会だけの保存継承ではなく地域全体が取り組む体制が必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 生活様式の多様化や高齢化・少子化が進むことで、本来地域に備わっている連帯感が薄れてきている状況である。その中であって、郷土芸能を継承する人が少なくなることが懸念される。 保存会だけの保存継承ではなく、地域全体で取り組む体制が必要である。																						

No.	1250-240	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 文化財保護法、霧島市文化財保護条例	
	一般	10	06	07	158025	緊急埋蔵文化財発掘調査事業(民間分)		
					158030	緊急埋蔵文化財発掘調査事業(直営分)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。 アパート建設に伴う発掘調査 隼人駅東口土地区画整備事業に伴う発掘調査		ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
民間開発及び公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施する。 緊急対応であり、見込分として計上している。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
周知の埋蔵文化財包蔵地		名称	
開発行為によって破壊される埋蔵文化財		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ア	周知の埋蔵文化財包蔵地の数
破壊される遺跡を記録保存し、また調査の成果を公開し、霧島市の歴史・文化への理解を深める。		イ	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ウ	
文化財をを適切に保存し、後世に残す。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
		イ	発掘調査報告書の数
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	20,700	5,000	2,618			
		地方債	千円						
		その他	千円	763	7,400	599	9,000		
		一般財源	千円		4,778	6,149	2,050		
	事業費計(A)	千円	21,463	17,178	9,366	11,050			
活動指標		ア	件	3	1	8	1		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア	ヶ所	516	516	518	518		
		イ	件	3	1	3	2		
		ウ							
成果指標		ア	件	3	1	8	2		
		イ	冊		300	300	300		
		ウ							
上位成果指標		ア	件	664	665	667	807		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	

事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 開発と文化財の調整を図る上で事業の推進に結びつき、妥当である。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 事前の調査は開発部局が経費を負担することが上部機関の指導である。本調査については原因者に負担してもらうため市負担の経費は軽くなる。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 調査された遺跡・遺物についての実施であり、対象・意図ともに変える必要はない。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 整理工程の見直し、民間業者の活用などによって効率的な作業が可能である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 研究機関による調査 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 外部調査機関等に委託することにより市が実施する必要がなくなる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費については、作業に必要な最低限の消耗品費、光熱費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 常勤職員は別事業との兼務が多く、厳しい状況であるが、業務を他機関に委託することによって業務時間を削減できる。但し、原因者の経費負担が増となるため検討を要する。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業を円滑に進める上でも委託等による民間業者の活用を図る必要がある。しかし、それには委託経費の増加が見込まれるので検討を要する。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<改革改善案> 作業従事者の専門性の向上を図り、現地調査の迅速化を行う。業務の一部を外部に委託して効率化を図る。																									

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
民間開発は緊急に入り込むため、対応に苦慮している。文化財包蔵地の周知を徹底し、長期的な計画を組み立てられるように図る。

No.	1250-250	事務事業名	市内遺跡確認事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111(5201・5202)
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	07	158010	文化財整備事業	地方自治法、文化財保護法	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
大隅国分寺跡、大隅正八幡宮関連遺跡(社家館跡等)の範囲や遺構の確認、さらには史跡整備のための基礎資料を得るため、発掘調査(確認調査)を行う。 また、個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための緊急埋蔵文化財発掘調査を実施する。 大隅国分寺跡及びその周辺(国分寺域内)の確認調査の実施。 大隅正八幡(鹿児島神宮)社家の確認調査の実施。 緊急埋蔵文化財発掘調査(国庫補助対応分)の実施。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 11 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 大隅国分寺跡発掘調査 大隅正八幡宮関連遺跡(最勝寺氏館跡)発掘調査・報告書作成 沢氏館跡レーダー探査 緊急埋蔵文化財発掘調査		ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	緊急埋蔵文化財発掘調査の数
大隅国分寺跡発掘調査・報告書作成、大隅正八幡宮関連遺跡発掘調査 緊急埋蔵文化財発掘調査		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大隅国分寺跡、大隅正八幡宮関連遺跡(社家館跡等) 市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地		名称	
		ア	範囲確認調査を必要としている遺跡の数
		イ	周知の埋蔵文化財包蔵地の数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大隅国分寺跡、大隅正八幡宮関連遺跡の調査を実施し、遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。調査成果をもとに、史跡整備を図る。		名称	
		ア	周知の埋蔵文化財包蔵地の数
		イ	市内遺跡調査(緊急対応)の数
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
適切に保存し、後世に残す。		名称	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円	3,300	4,500	3,250	3,500		
		都道府県支出金	千円	660	700	650	700		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,644	3,800	2,600	2,810		
	事業費計(A)	千円	6,604	9,000	6,500	7,010			
活動指標		ア	件	3	2	2	2		
		イ	件	5	3	2	3		
		ウ							
対象指標		ア	件	2	2	2	2		
		イ	箇所	516	516	518	518		
		ウ							
成果指標		ア	箇所	3	2	2	2		
		イ	件	5	3	2	3		
		ウ							
上位成果指標		ア	箇所	664	665	667	807		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)の範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導入し実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
一時期に比べ、開発行為(特に個人住宅)が増えてきており、確認調査の件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保存の必要性の指摘を受けている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	

事務事業名	市内遺跡確認事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	発掘調査における精密機器の導入や測量・実測、製図等の業務委託の推進により、埋蔵文化財の記録保存の精度をあげ、効率的な調査を実施するように検討していく。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 機器の購入には大きな費用負担を要する。また、機器を使用するのは職員であるため、事務量に関してはあまり変わらない。委託業務の場合は、測量、遺物実測、測量・実測図の製図等まで一括してできるため、職員の事務量は少なくなる。長期的に考えると費用はかかるが、委託をせず、機器を購入して職員が調査を実施した場合、職員の人件費もかかることになる。

No.	1250-260	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまつくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	05	158035	埋蔵文化財発掘調査費	文化財保護法、霧島市文化財保護条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
福山及び隼人地区内において合併前に実施した発掘調査により出土した遺物を実測し、時代別種類別に整理しまとめて報告書を作成する。また、確認調査や文化財調査等についても周知を図るため年次的に報告書を作成する。 <報告書作成日程> 平成19年度 整理作業・遺物実測等 平成20年度 整理作業・遺物実測等 平成21年度 遺物実測・報告書作成 平成22年度～ 整理作業・報告書作成							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~)	
							<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 19 年度 ~ H 29 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単 位	
隼人地区の「弥勒院跡遺跡」の整理作業の実施。		ア	発掘の面積
福山地区の「中柚木遺跡」の整理作業の実施。			m ²
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	調査する文化財の数
隼人地区の「弥勒院跡遺跡」の整理作業・報告書作成の実施。			件
福山地区の「中柚木遺跡」の整理作業・報告書作成の実施。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
文化財		名称	
		単 位	
		ア	発掘された遺物の数
			点
		イ	調査した文化財の数
			件
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
実測・接合し時代別に整理する		名称	
		単 位	
		ア	整理した遺物
			点
		イ	調査した文化財の数
			件
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
適切に保存し、後世に残す。		名称	
		単 位	
		ア	保存されている文化財の数
			件
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,539	5,304	5,338	5,608	
	事業費計(A)	千円	2,539	5,304	5,338	5,608		
活動指標	ア	m ²	0	3,630	6,000	6,000		
	イ	件	0	0	0	0		
	ウ							
対象指標	ア	点	0	12,890	2,500	2,500		
	イ	件	0	0	0	0		
	ウ							
成果指標	ア	点	0	400	500	500		
	イ	件	0	0	0	0		
	ウ							
上位成果指標	ア	件	664	665	667	807		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併前に福山・隼人地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。調査は終了したが整理作業を行い、報告書を作成する必要がある。また、確認調査で発掘された資料を公開するため、年次的にその成果をまとめた資料が必要である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
開発行為に伴う発掘が増えている。埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
公共工事・民間開発行為者から、迅速な対応をして欲しいとの要望がある。	

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	文化財保護法に則した事業であり妥当である。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	開発に伴う発掘調査で得られた資料を公表する記録保存は文化財保護法に則って行う必要があり、義務である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	調査された遺跡・遺物についての実施であり、対象・意図ともに変える必要はない。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	整理工程の見直し、民間業者の活用などによって効率的な作業が可能である。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 緊急埋蔵文化財発掘調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業費については、作業に必要な最低限の消耗品費、光熱費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	常勤職員は別事業との兼務が多く、厳しい状況であるが、業務の一部を委託することによって業務時間を削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業を円滑に進める上でも委託等による民間業者の活用を図る必要がある。しかし、それには委託経費の増加が見込まれるので検討を要する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 合併した旧市町の作業従事者の適正な配置を行い、効率的な事業を行う。また、作業効率の良い作業場を確保する。現地調査時において単年度で終了するように経費・人員等の適正な配置を行う。業務の一部を外部に委託して効率化を図る。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業を進める上で必要な場所の確保に苦慮し、合併効果が活かされていない。

No.	1250-270	事務事業名	文化財整備事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	07	158090	文化財保護費	霧島市文化財保護条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。 環境整備とは、文化財整備を終えた文化財の維持管理のことをいう。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 62 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 県指定「高座神社の社叢」イチイガシ枝木剪定 県指定「旧田中家別邸」雨漏修繕 市指定「小みかん」養生 文化財説明板の設置 霧島神宮社殿修復事業		ア	整備した文化財の数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	設置した文化財説明板・標柱の数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内の文化財		ウ	環境整備を実施する文化財の数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 文化財の整備(文化財の修復、復元、養生や文化財周辺の整備)を図る。文化財について解説し、正確な情報を提供する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を適切に保存し、後世に残す。		名称	
		ア	市内文化財の数
		イ	環境整備を実施する文化財の数
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	整備した文化財の数
		イ	設置した文化財説明板・標柱の数
		ウ	環境整備を実施した文化財の数
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			920			
		地方債	千円						
		その他	千円		388	0	0		
		一般財源	千円	817	1,764	1,984	2,204		
事業費計(A)		千円	817	2,152	2,904	2,204			
活動指標		ア 件	4	3	4	2			
		イ カ所	25	24	20	12			
		ウ 件	43	45	46	45			
対象指標		ア カ所	664	665	667	807			
		イ 件	43	45	46	45			
		ウ							
成果指標		ア 件	4	3	4	2			
		イ カ所	25	24	20	12			
		ウ ケ	43	45	46	45			
上位成果指標		ア 件	664	665	667	807			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。 草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 文化財の経緯等が、説明板でわかったという声が寄せられている。 草払い等掃除することにより、きれいになったという声が寄せられている。	

事務事業名	文化財整備事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	文化財の現状、整備が必要な文化財を的確に捉えながら、事業の内容等を工夫し、効率性の確保と効果の向上を検討する。整備にあわせて市民への普及の方法も検討する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<改革改善案> 定期的な文化財視察を行うこと、県の文化財巡回指導員や地域住民との連絡を密に取ることから文化財の現状を把握し、必要な対策を講じる。 文化財説明看板や標柱を設置すべき場所、取替えが必要な場所等を把握し、優先順位をつけ、対応していく。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 台風や自然災害等により被害を受ける文化財も少なくない。その際、市内全域を限られた職員で確認することは難しい。日頃から地域住民が文化財に対して関心を持つような意識作りが必要である。

No.	1250-290	事務事業名	埋蔵文化財保護事業			所属部	教育部
						所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承			所属G(係)	文化財G
	基本事業名	03	文化財の保存・整備			電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	文化財保護法 霧島市文化財保護条例

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市に点在する、埋蔵文化財(周知の埋蔵文化財包蔵地)を後世に残すため、民間開発業者や公共の開発部局と埋蔵文化財の保護と事業の推進を図るため、早期の段階で調整を行い、できうる限り遺跡を守るための措置を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(19年度に行った主な活動) 「埋蔵文化財発掘調査の手引き」の配布 開発部局・民間開発業者との調整		ア	開発に伴い埋蔵文化財の有無について確認した数
21年度計画(20年度に計画している主な活動) 「埋蔵文化財発掘調査の手引き」の配布 開発部局・民間開発業者との調整		イ	開発側と協議した数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡) 開発中において新たに発見した遺跡		ウ	開発に伴う発掘調査を実施した数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 埋蔵文化財を保護するため、開発行為の見直しや一部計画変更などを事前に協議する。 の協議を実施しても破壊される遺跡については発掘調査を行い、記録保存として遺跡を後世に残す。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を適切に保存し、後世に残す。		ア	周知の埋蔵文化財包蔵地の数
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	開発側と協議した数
		イ	発掘調査を実施した数
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	保存されている文化財の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	450	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	450	0	0	0			
活動指標		ア 件	235	175	340	200			
		イ 件	15	10	16	15			
		ウ 件	5	5	8	6			
対象指標		ア 箇所	516	516	518	519			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 件	15	10	16	10			
		イ 件	5	5	8	5			
		ウ							
上位成果指標		ア 件	664	665	695	807			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
開発に伴う埋蔵文化財の無秩序な破壊が進む中、文化財保護法の規定が整備され、当地域においても昭和50年代から発掘調査のニーズが高まり、昭和60年から専門職員を配備し埋蔵文化財保護に努め、現在にいたっている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
霧島市は宅地造成など開発が多く、そのため年間をととして埋蔵文化財の有無の問い合わせや試掘調査・確認調査の依頼が多い。年間数件の試掘調査・確認調査・本調査を実施している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
郷土の歴史や文化、とりわけ考古学についての関心は高い。当該地域は県下でも開発行為が多い地域であり、民間開発業者においても埋蔵文化財の有無についての関心は高い。	

事務事業名	埋蔵文化財保護事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 埋蔵文化財を保護するため、開発行為の一部見直しや一部計画変更などを事前に協議し、協議しても破壊される遺跡については発掘調査を行い、記録保存して遺跡を後世に残すことで、文化財の適切な保存に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。埋蔵文化財の保護については、開発部局や民間の開発業者との調整だけでは費用はかからないが、手引きなど大いに活用されているので、不足分は今後増刷していく。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 周知の埋蔵文化財包蔵地における開発は、施工前に試掘・確認調査によって遺跡の有無を確認しなければならないので、件数は年度ごとに差異が生じるが、対象・意図ともに変える必要はない。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 地方公共団体等の場合は、開発件数が把握できるが、民間の場合は不透明であるため、件数の多い年度、少ない年度とばらつきが生じてしまうため、向上させようとしても思うようにはいかない。個々の件に関して、それぞれの対応をするしかない状況である。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 埋蔵文化財や包蔵地内での開発に関する手続き方法の周知を実施することは、文化財保護部局としては当然しなければならないものであり、埋蔵文化財保護の初歩的な事業なので、廃止・休止することはできない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費はかからない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 地方公共団体等の場合は、開発件数が把握できるが、民間の場合は不透明であるため、現在いる職員の中で対応するしかないので、削減する余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 埋蔵文化財の手引きに関しては、文化振興課のみならず、建設部等でも配布していただいているので、様々な方面に行き渡っている。公平・公正になっている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	民間開発などはいつ実施されるかわからず、また、急を要する件がほとんどである。スムーズな業務を推進するためにも、このような協議の業務が必要になる。また、冊子を作成し、配布することで慎重な開発計画を立ててもらうことができる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1250-310	事務事業名	国分郷土館管理運営事業				所 属 部	教育部
							所 属 課	文化振興課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課 長 名	川原 和 昭
	施策名	0 4	伝統文化の保存・継承				所 属 G (係)	文化財グループ
	基本事業名	0 4	文化財の活用				電 話 番 号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 5	156010	郷土館管理事業	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
国分地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。 また、それぞれの郷土館が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、スタンプラリーを行い、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。		単年度のみ 単年度繰返 ↳ (S 54 年度 ~) 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	
20年度実績 (20年度に行った主な活動) 企画展「島津家の歴史をたどる」 郷土館収蔵品展「国分寺瓦が語る郷土の歴史」「まちの移り変わり」 体験活動「ミニ門松づくり」 スタンプラリー「きりしまっ子！発見の旅」		ア	開館日数
			日
21年度計画 (21年度に計画している主な活動) 企画展「国分郷土館リニューアル展」 郷土館収蔵品展「活火山と遺跡展」 体験活動「ミニ門松づくり」 クイズラリーの実施		イ	特別展、企画展、収蔵品展等の開催回数
		ウ	回
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民 市民以外の人		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市民の数
		イ	人
		ウ	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	入館者数
		イ	スタンプラリーに参加した人数
		ウ	人
結果 (どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		上位成果指標 (結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
		イ	人
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内訳	財源	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	115	106	86	93	
		一般財源	千円	5,191	4,441	4,675	4,529	
	事業費計 (A)	千円	5,306	4,547	4,761	4,622		
活動指標		ア 日	314	311	315	313		
		イ 回	6	5	6	4		
		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	3,907	3,714	1,231	2,000		
		イ 人	107	222	123	240		
		ウ						
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
昭和54年、国分の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、国分郷土館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
郷土館の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展 (2回)、体験学習、スタンプラリーなどを積極的に実施しているが、入館者数は3500人~4000人と低迷している。	
この事務事業に対して関係者 (住民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか？	
国分郷土館は城山公園 (山頂部) の一角にあり、気軽に行ける場所ではない。 霧島市には同類の施設が5館あり、今後統合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)	

事務事業名	国分郷土館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 国分郷土館の企画展、収蔵品展、スタンプラリー等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、隼人歴史民俗資料館、隼人塚史跡館と連携して、有効活用できないか検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	建物の老朽化による雨漏りで、資料の被害が懸念される。 人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討する。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 屋根の雨漏り修繕が必要である。 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。 地域の特色を活かした企画展やイベントを実施するために、郷土館に収蔵している資料はもちろん、地域に眠っている資料の発掘を行う。また、各種イベントについての広報周知を図る。 常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。 スタンプラリーなど郷土館へ足を運ぶきっかけ作りの事業を展開する。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 国分郷土館の場所は城山公園の隣にあり、公共交通機関が整備されていない。 雨漏りは屋根全体に浸透しており、全面修繕が必要であるため多額の予算が必要となる。 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。																	

No.	1250-320	事務事業名	横川郷土館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	05	156010	郷土館管理事業	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
横川地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収集及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 63 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
展示資料の充実 スタンプラリー(国分郷土館主催)		ア	開館日数
			日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
展示資料の充実 クイズラリー		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市民 市民以外の人		名称	
		単位	
		ア	霧島市民の数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。		名称	
		単位	
		ア	入館者数
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		名称	
		単位	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	8	12	8	27	
		一般財源	千円	2,719	2,078	2,199	1,363	
事業費計(A)		千円	2,727	2,090	2,207	1,390		
活動指標		ア	日	308	314	311	310	
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383	
成果指標		ア	人	178	239	286	263	
上位成果指標		ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和63年、横川の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、横川郷土館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
入館者数が平成13年度225人で、5年間で約20%減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
展示品や史跡の説明ができる人の配置が必要。	

事務事業名	横川郷土館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 横川郷土館の企画展、国分郷土館主催のスタンプラリー等の事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、関連施設との調整を図り、有効活用ができないか今後検討していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費については、館を運営するために必要な最低限の消耗品費、光熱水費、手数料、保険料、委託料がなく、これ以上の削減は不可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 郷土館管理運営は年間105日の委託契約で実施している。これ以上の削減は不可能である。 ただし、関連施設との調整ができるのであれば、削減余地はある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>入館者数に対して、維持費が大きい。必要最低限の維持費用で削減の余地がない。人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討。</p>
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<p><改革改善案> 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。地域の特色を活かした企画展やイベントの実施と、その広報周知を図る。常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。</p>																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴し、慎重に検討していく必要がある。

No.	1250-330	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業				所属部	教育部		
							所属課	文化振興課		
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭	
	施策名	0	4	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財グループ	
	基本事業名	0	4	文化財の活用				電話番号	42-1111	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例、施行規則	
		一般	1	0	0	6	0	5	156015	歴史民俗資料管理事業

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収集及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。							単年度のみ		
							単年度繰返 ↳ (S 54 年度 ~)		
							期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
手段(主な活動)		名称		単位					
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 開館日数		日					
企画展「篤姫と島津氏」 「昭和の相撲史展」		イ							
スタンプラリー (国分郷土館主催)		ウ							
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)							
スタンプラリー (国分郷土館主催)		名称		単位					
島津義久パネル展		ア 霧島市民の数		人					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		イ							
霧島市民		ウ							
市民以外の人		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)							
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称		単位					
郷土の歴史・文化を学ぶ場の提供。		ア 入館者数		人					
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ							
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		ウ							

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	11	9	13	10		
		一般財源	千円	981	1,221	981	857		
		事業費計(A)	千円	992	1,230	994	867		
活動指標		ア	日	308	308	308	306		
対象指標		ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
成果指標		ア	人	574	287	550	600		
上位成果指標		ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和54年、霧島の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、霧島歴史民俗資料館を建設した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
年間の来館者は延べ200人程度であり、土曜、日曜、祭日、に管理してもらうシルバーの方の経費もまかなえない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合含めた総合的な見直しが必要である。	

事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島歴史民俗資料館の企画展、国分郷土館主催のスタンプラリー等の事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。 また、霧島公民館との連携を図り、有効活用ができないか今後検討していく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費については、館を運営するために必要な最低限の消耗品費、光熱水費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料がなく、これ以上の削減は不可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 郷土館管理運営は年間105日の委託契約で実施している。これ以上の削減は不可能である。 ただし、霧島公民館との連携ができるのであれば、削減余地はある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>入館者数に対して、維持費が大きい。必要最低限の維持費用で削減の余地がない。人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展やイベント、常設展示物の内容や手段を工夫する。入館者の増加につながる方策を検討。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><改革改善案> 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。地域の特色を活かした企画展やイベントの実施と、その広報周知を図る。常設展示物資料の入れ替えを行い、わかりやすい解説文をつけて展示する。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
<p>5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴し、慎重に検討していく必要がある。</p>																						

No.	1250-340	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例、施行規則	
	一般	10	06	05	156010	郷土館管理事業		
		10	00		156015	歴史民俗資料館管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
隼人地区の歴史・民俗資料を集めたり、保存したり、調査研究したり、市民に紹介したりする。そのために資料館の施設を管理運営する。 また、隼人にゆかりのある浜下りや年中行事である灯ろう祭りなどを文化財少年団を組織して伝統的体験学習を行なう。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 56 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 資料館の管理運営、資料収集、常設展、特別展「わが家の宝物展」 文化財少年団の実施 スタンプラリー(国分郷土館主催)		名称 ア 開館日数 単位 日 イ 文化財少年団等の参加者数 単位 人 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 資料館の管理運営、資料収集、常設展、特別展、文化財少年団、クイズラリー		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 霧島市民の数 単位 人 イ 児童・生徒の数 単位 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民 市内の児童・生徒 市民以外の人		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 入館者数 単位 人 イ 文化財少年団等に参加した人数 単位 人 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 歴史民俗資料に触れて学んでもらう。 貴重な郷土の歴史・民俗資料の散逸を防ぎ、後世へ伝える。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 郷土の歴史を学んだ市民の数 単位 人 イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	96	89	95	139		
		一般財源	千円	3,904	3,901	3,408	3,588		
	事業費計(A)	千円	4,000	3,990	3,503	3,727			
活動指標		ア 日	308	308	306	306			
		イ 人	270	289	316	200			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,393			
		イ 人	12,096	12,223	121,136	12,028			
		ウ							
成果指標		ア 人	1,876	1,921	2,257	2,100			
		イ 人	270	289	316	200			
		ウ							
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和56年に開館した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
入館者は横ばい傾向にある。一般入館者の他、小学生の郷土の学習、歴史愛好団体の活動の場として利用されているが、ここ数年は大学の博物館実習や中学生の職場体験実習の場としても利用されている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
入館者の増加対策。費用対効果に関する指摘。郷土の歴史について知ることが出来良かった(常設展、特別展)。文化財少年団や郷土館等活用他意見学習を通して、郷土の歴史・文化・風俗などが良く分るようになった。との意見が寄せられている。単年度で終了することなく継続してほしい。	

事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が実施する必要がある。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象にしており、対象・意図ともに適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】	魅力的な特別展やイベントなどの実施、ホームページを作成するなど情報を発信することによって来館者の増加が期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財や滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 郷土館等主催事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	<input type="checkbox"/> 統廃合できない
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】	事業費については、館運営に必要な最低限の消耗品費、光熱費、通信運搬費、手数料、保険料、委託料しかなく、これ以上の削減は不可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】	資料館管理運営は非常勤職員と委託で実施している。これ以上の削減は不可能である。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県内でも重要な位置にある資料がかなり保管されているが、これらの情報が発信されていない。今後は地道な調査整理が必要であり、かつ発信の場(特別展等)を設ける必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	期待成果マトリックス表: <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 鹿児島神宮近くの奥まった場所にあるため、その存在が知られていないことがある。案内看板の設置や神宮との連携によって参拝者を館の入館者として導くことが可能である。
 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。

No.	1250-350	事務事業名		隼人塚史跡館管理運営事業			所属部	教育部	
							所属課	文化振興課	
		政策名	04	育み磨きあつまちづくり				課長名	川原和昭
政策体系		施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
		基本事業名	04	文化財の活用				電話番号	42-1111
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例、施行規則
		一般	10	06	05	156020	隼人塚史跡館管理運営事業	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 国指定史跡隼人塚を見学する人に、隼人塚やハヤトについての紹介や説明を行う。 隼人塚、ハヤトに係のある資料を集めて保存・調査したり紹介するために、史跡館の施設を管理運営する。		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 13 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)
--	--	--

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 隼人塚史跡館の管理。隼人塚来訪者への隼人塚・ハヤトの紹介、説明。 (史跡公園)隼人浜下り立ち寄り、隼人塚とうろう祭。 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 隼人塚来訪者への隼人塚・ハヤトの紹介、説明。 (史跡公園)隼人浜下り立ち寄り、隼人塚とうろうの夕べ。 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市民 市民以外の人 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 隼人塚やハヤトについて学び、関心や理解を深めてもらう。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 開館日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table> 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 霧島市民の数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table> 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 入館者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table> 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ア 郷土の歴史を学んだ市民の数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 開館日数	日	イ		ウ		名称	単位	ア 霧島市民の数	人	イ		ウ		名称	単位	ア 入館者数	人	イ		ウ		名称	単位	ア 郷土の歴史を学んだ市民の数	人	イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 開館日数	日																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 霧島市民の数	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 入館者数	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 郷土の歴史を学んだ市民の数	人																																	
イ																																		
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	159	164	170	214		
		一般財源	千円	3,850	3,667	3,766	3,462		
事業費計(A)		千円	4,009	3,831	3,936	3,676			
活動指標		ア 日	308	308	315	310			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383			
成果指標		ア 人	2,458	2,172	2,257	2,389			
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 国指定史跡隼人塚の発掘調査・修復整備事業の一環として、平成13年度開館。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 開館当初よりは入館者は減少傾向にある。県外からの利用も多い。 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 隼人塚の歴史やハヤトについてわかった。	
---	--

事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 隼人塚や八ヤトの歴史について学ぶ最良の場所を提供することによって、関心や理解を深めてもらい、郷土の歴史を正しく理解することに結びつく。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 隼人塚は国指定史跡であり、隼人塚史跡館はそのガイダンス施設としての役割を担っているため必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 隼人塚や八ヤトの歴史について学びたい人は、誰でも隼人塚史跡館を利用できるので適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 企画展や特別展を企画運営することにより、入館者数を増やす。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 平成13年度に開館しており、現段階では補助金等適性化法に抵触する。 郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 郷土館等主催事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 巡回の特別展などを実施することによって他館との連携や情報の発信を行い、入館者の増加が図られる。 また、国分郷土館、隼人歴史民俗資料館と連携し、有効活用できないか検討する。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費のほとんどは、文化財専門指導員1名分の人件費と、館の管理に要する各種の保守管理委託料と光熱水費等であり、現時点においてこれ以上の削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 史跡館管理運営は非常勤職員(文化財専門指導員)を1名と、シルバー人材センターへの委託により、来館者への説明対応を行っており、現時点においてこれ以上の削減は不可能である。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。 また、霧島市内の他の郷土館等施設と入館料を統一しており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)												
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>事業が館の管理を主体としているため、管理方法、費用負担等全体的には適切と評価するが、入館者数が減少してきているので増加につながる方策を検討する。</p>
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><改革改善案> 入館者が年々減少してきているので、隼人塚史跡館としての特色を活かした、企画展や特別展などの実施が必要である。 霧島市内に郷土館等施設が5つあり、今後、統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
<p>小・中学校とも連携を図り、歴史学習や遠足等における行程に入れてもらうよう働きかける。 5つの郷土館等施設の見直しについては、各地域住民(郷土館等あり方研究会)の声や専門知識を有するもの(文化財保護審議会委員)の意見を徴集し、慎重に検討していく必要がある。</p>

No.	1250-370	事務事業名	山ヶ野金山ウォーキング大会開催事業			所属部	教育部
						所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和 昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承			所属G(係)	文化財グループ
	基本事業名	04	文化財の活用			電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	07	158090	文化財保護費	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
山ヶ野金山史跡めぐりとしてウォーキング大会を実施することにより、金山史跡とふるさとの香りを味わいながらウォーキングを楽しんでいただく。 山ヶ野金山のウォーキング 中学生による案内(説明) 地元地区民による湯茶の接待 郷土芸能の披露 平成20年度全体事業費 1,338千円 (補助金600千円)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 平成21年3月1日、旧横川町山ヶ野地区を中心に史跡めぐりウォーキング大会を実施。参加者285人。		ア	ウォーキング参加者
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様の予定		イ	地元ボランティア
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市民 市民以外の人		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 山ヶ野金山について歴史・文化を正しく理解するとともに、ウォーキングを通して地域住民の融和並びに活性化を図る。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。		名称	
		ア	霧島市民
		イ	市民以外の人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	ウォーキング参加者
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	600	600	600	540	
	事業費計(A)	千円	600	600	600	540		
活動指標		ア 人	249	295	285	300		
		イ 人	230	266	260	250		
		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ 人	0	0	0	0		
		ウ						
成果指標		ア 人	249	295	285	300		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 人	8,884	8,753	9,254	9,400		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 山ヶ野金山を活かした地域起こしの一貫として14年度から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 参加者の申込が年々多くなってきている。 地域住民参加者(ボランティア)の高齢化が進んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域の方々のもてなしや中学生による案内説明など、ウォーキング参加者に変々喜ばれている。	

事務事業名	山ケ野金山ウォーキング大会開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、さらには山ケ野地区の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要であることから、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 山ケ野金山ウォーキングの参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より成果を上げるため実行委員会で検討しているが、現段階では地域住民でできることを含め最大限の協力をいただいている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にす心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 山ケ野金山の保存・活用、山ケ野地区の活性化を図るには、本事務事業が最適である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 地域住民(中学生~高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 約266名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の案内については、市報・チラシ・HPなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。ウォーキングの参加者は参加費を出していることから、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業に関わった全ての方々(参加者、ボランティア、地域住民)から喜ばれており、文化財の保存・活用、地域の活性化に繋がる事業である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 本事業は企画の段階から現地(ルート)の整備、当日のおもてなしに至るまで、地域住民(山ケ野金山文化財保護活用実行委員会)が主体となって取り組んでいる。今後も、地域総ぐるみで本事業に取り組んでいただきたい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 地域住民(ボランティア)の高齢化が進んでおり、今後の事業の取組みに支障は出てくるのではと危惧している。そこで、本事業を山ケ野地区以外の方々にこれまで以上に呼びかけ、広くボランティアを募る必要がある。

No.	1250-380	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業				所属部	教育部	
						所属課	文化振興課		
政策体系	政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和 昭
	施策名	0	4	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	文化財G
	基本事業名	0	4	文化財の活用				電話番号	42-1111(5201・5202)
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし	
	一般	1	0	0	6	0	7	158090	文化財保護費

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマツ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを促す。 市報・チラシなどによる広報・募集 史跡めぐり(徒歩・バス)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
市内史跡めぐり		ア	史跡めぐりの回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
市内史跡めぐり		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
市内にある文化財		単位	
		ア	人口
		イ	文化財の数
		ウ	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
郷土の歴史・文化について学び、文化財愛護思想の普及を図る		名称	
		単位	
		ア	史跡めぐり参加者数
		イ	人
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する		名称	
		単位	
		ア	郷土の歴史を学んだ市民の数
		イ	人
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	206	150	216	235		
	事業費計(A)	千円	206	150	216	235			
活動指標		ア	回	11	10	9	10		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ	件	664	665	667	807		
		ウ							
成果指標		ア	人	706	420	388	460		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	人	8,884	8,753	9,254	9,400		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成18年度から開始。霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。 史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	

事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 霧島市の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることをすることができる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市の文化財を市民に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 文化財保護の啓発と愛護思想の高揚を進めていくためには、文化財に対する市民の意識を高めることが重要である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 霧島市は古くは縄文時代に始まり、クマソ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。そのため、新市霧島市には多くの文化財が点在しているが、市内の文化財の所在や歴史・文化について知らない市民が多い。よって、本事務事業の成果を向上させる余地は十分にあると考えられる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 史跡をめぐり、市民が直接文化財に触れることは非常に大切なことであり、実物に優るものはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施しているが、参加者に参加料を求める(バスによる市内めぐり)などの工夫が必要である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行っているため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	文化財保護の意識啓発のために、市民が歴史に親しみやすいコース作りに努めることに留意していくことが重要である。また、参加者へ参加料を求めるということも検討の余地がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 霧島市内の、歴史、伝統文化、文化財について知らない市民が数多くいる。また、職員も把握しきれていない文化財等も数多く眠っている。霧島市の重要な文化財等を保存・活用していくためには、職員の研鑽と市民の意識向上が必要であると考え。集合場所など、課題は多くあるが、新たなコースを開拓し、多くのリピーターを呼び込めるようにしていくことが課題である。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
新たなルートの開拓には、集合場所や安全面など様々な課題がある。実際に歩いてみなければならないようなこともあり、業務としては大きな負担となる可能性がある。日常の業務の中から、史跡めぐりができるような文化財を見つけ、地域の特性を研究することが重要である。